

ロマンは実を結ぶ

和歌山地本 和歌山電車区分会

No.259



2020年1月の「新春の集い」



昨年まで恒例だった和歌山城花見レク

私たちは、和歌山電車区分会
は内勤(管理・当直・指導・事
務)と乗務員(運転士)の組合
員で構成されています。業務
エリアは、阪和線(天王寺ー

また、和歌山城の桜の下で

和歌山と紀勢線(和歌山ー
和歌山市駅、白浜ー和歌
山)、和歌山線(五条ー和歌
山)となっています。
組合員数は2020年7

％和歌山地方本部で組合員
数が一番多い分会です。
大半の組合員が乗務員と
いうことで、出勤日や出勤
月時点で16
7名が在籍し
ており、組織
率は96.53

時刻もバラバラな職種であり、
全員が堂に会うことが難し
い分会です。
しかしながら、分会活動で
は春の恒例となっている和歌
山城での花見レクや新年を楽
しむ、より多くの分会組合員
で迎えることを意識した新春
もろろるよう心掛けています。

残念なこと、今年の花見
レクについては自粛を決定し
ましたが、来年の春には多く
の分会組合員の皆さんに参
加してもらい、また楽しい花見
レクを開催できる社会となっ
ていくことを願っています。
現状でも新型コロナウイルス

九州豪雨支援に
2000万
円寄付
ヤダマヤさん
東京から軽トラ
3台で
医療物
資や片
付け支援へ

ウエスト君

中野リキ (No.347)



マイカー共済お見積りキャンペーン
自動車保険、見直しておトクに!

オリジナル 共済ならではの親切割引!!
最大22等級・64%割引

最大22等級マイカー共済だけ
安心サポート 24時間365日
マイカー共済3つのメリット
さまざまな特約・割引

キャンペーン期間中
2020年10月末

安心の共済マイカー共済で見直し!

キャンペーン期間中に
新規加入のお見積りを依頼された方には
粗品プレゼント!!

マイカー共済お見積り 交通共済 西日本事業本部
☎06-6373-2146

JR西労組 第32回定期中央本部大会 上村中央執行委員長挨拶(要旨)

新型コロナウイルス感染の不安を抱えながら、公共交
通機関としての使命を果たして頂いていることに対して、あら
ためて敬意と感謝を表します。

本大会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、5
会場に分かれてのLive形式、かつ傍聴なしでの開催とな
ります。総団結で未曾有の難局を乗り越え、未来を切り
拓くための意思統一を図る機会にしたいと考えます。

新型コロナウイルス感染症は、私たちJR西日本グル
ープにも深刻な影響を与え、4月30日に公表された第4四
半期(1~3月)決算では、268億円の最終赤字(単体)
を計上、今年度に入りご利用はさらに落ち込み、4~6月

の運輸取扱収入(累計)は、前年の1/3、約1,400億の減
収となりました。緊急事態宣言解除後、少しずつご利用が
戻りつつあるものの、通勤のご利用は未だ6割程度、新幹
線が4割、在来線特急のご利用に至っては35%程度にと
どまっており、固定費すら賄えない状況が続いています。

JR西労組はこの間、組合員と家族、お客様の安全、健
康を守ることを、そしてグループを含め「雇用を守る」ことを絶対
として対応してきましたが、新型コロナウイルス感染症の収束
が見えない中、安全を基礎に、全組合員が団結し、そして
労使が力を合わせ、何としてもこの難局を乗り越え、JR
西日本グループを存続させなければなりません。

1. 安全確立と事故の教訓化の不断の取り組みについて

福知山線列車事故から15年が経過しました。未だ時計
の針があの日から止まったままのご遺族、お怪我を負われ
た方々の苦しみや悲しみを胸に刻み、二度と悲劇を繰り返
さない決意をあらためて確認したいと思います。コロナ禍
の混乱の最中ではありますが、何よりもお客様と社員
の安全を守ることを優先することに変わりはありません。

今年「鉄道安全考動計画2022」の折り返しの年に当
たります。2019年度は鉄道事故、死亡労災事故は発生し
ませんでした。計画策定後4件の死亡労災事故が発生し
ていますが、6月には、保守用車の取扱い誤りによりポ
イント割出や脱輪が発生するなど、看過できない事象が続
いています。背後要因などについては今後検証する必要
はありますが、これらの事象に限らず、気の緩みはないか、
ルールの逸脱を見逃していないか、焦って作業をしてい
ないか。常に心に問いかけ、仲間同士で確認し合うこと
の積み

重ねが安全性向上に繋がると確信しています。

グループ会社や協力会社の方々や上意下達の単なる
従属関係に陥っていないか。立場や会社の枠を乗り越え、
互いに敬意を払う信頼関係を築き、さらなる安全性向
上を果たしていかなければなりません。

事故後15年経過したことによる風化防止、半数弱を占
める事故後入社の福知山線列車事故を知らない世代に対
する事故の教訓化の取り組みが益々重要になっていきます。

地域や年齢、系統による意識差にも留意し、JR西労組
が作成した「安全DVD」を活用して頂くとともに、それぞ
れの地方で工夫を凝らした、風化防止と教訓化の取り組
みを不断に進めて頂くことを強く要請します。本部として
も、ユニオンカレッジなどで元ご遺族担当のOBの方々にも
協力を頂いて、事故を決して忘れず、事故と向き合う取
組みを進めていく決意を申し上げます。

2. 新型コロナウイルス感染症への対応について

JR西労組は、政府が新型コロナウイルス感染症を指
定感染症に定めたことを受け、1月29日に緊急申し入れを
行い、マスクの着用、消毒用アルコールの配備などをいち
早く行ってきました。また、教育機関等の休校を受け、勤務
や休暇の柔軟な取扱いを通じ、育児をしながら働く組合
員、あるいは妊産婦の組合員への支援を行うとともに、間
接部門におけるテレワークや時差出勤などを徹底、4月
には三密回避を目的に、間接部門、一部の駅や乗務員区所
において、「在宅勤務」を実施してきました。

5月には、お客様のご利用が大幅に減少し、駅の窓口
等の一部閉鎖や列車の減便など、業務量が減少している
ことを鑑み、JR西日本充足以来初めてとなる「一時帰休」
を実施しました。苦渋の決断ではありましたが、三密回避
の一助となること、基準内賃金を減額することなく100
/100を支払うこと、そして雇用調整助成金の対象となり
うることなどから、協定書を締結しました。

時間のない中で実施したこともあり、「年休」と変わらない
休暇という誤解が広がったこと、帰休者数の設定が硬
直的であったこと、あるいは帰休できる社員が一方、一
方、業研や競技会の準備などで残業する社員がいるよう
な職場が出てしまったことなど、労使ともに反省すべき点があ

り、コロナ禍の影響が長期化する可能性も否定できない
今、ただちに改善しなければなりません。加えて、「一時帰
休」は、業務が減少し、解雇を防ぐ手立てとして雇用調整
助成金の受給を念頭に、会社側の都合で社員を休ませる
「休業」であって、年休や公休・特休のような労働者の権
利である「休日」ではないことを労使ともに正しく認識し
なければなりません。工務系の職場で「一時帰休」を求める
声があるとも聞いていますが、働く側から求めるものでは
ありませんし、今後業務が急減すれば、対象が拡大する
可能性もあります。

さらには、6月29日に国土交通副大臣に対して、極めて
深刻な収入状況を踏まえ、①鉄道事業用資産の固定資産
税等の減免、②アフターコロナの社会に対応すべく、時
差通勤・旅行時期の平準化を促進するためのポイント還
元などに対する助成や弾力的な運賃・料金制度の運用、
③様々な対策を講じている鉄道をはじめとする公共交通
機関の国を挙げての安全性PR、などを要請いたしました。
副大臣は、コロナ感染の不安を抱える中で公共交通
機関の使命を果たしている組合員への謝意を述べられて
いましたが、国・行政として対処すべき政策課題等につ
いても、引き続きJR連合と連携してまいりたいと思います。

3. 総合労働協約改訂と2021春季生活闘争について

昨年までと違い、本大会で要求書案を提起し、肉付け
を頂き、本番に臨みたいと考えています。労使協議の時間
をこれまで以上に確保する観点からも、来年度以降もこ
のスタイルを継続していきたいと考えています。

本協約改訂交渉に臨むにあたっては、積み残した課題
を労使で再確認しつつも、コロナウイルス感染症拡大の第
二波を念頭に、休業や休暇などの時限的措置の恒久的
な取扱いの是非や、「新生活様式」を見据えた働き方改
革、そして組合員と家族の安全・健康を守る制度改正など
を最優先すべきと考えます。賃金原資も意識した集中的な
議論を進めていくこととします。

2021春季生活闘争について、コロナ禍による経営へ
の打撃は大きく、今なお通期の見通しも立てることも出来
ませんし、予定配当も明らかにしていません。JR西日本は
現在、中期経営計画の見直しを進めており、徹底した経
費節減、設備投資の大幅な見直しや工期延長なども想定
されます。

JR西労組は、これまでも「黒字である以上、成果配分

を求める」との姿勢で春闘に臨んできました。そして、201
9春闘では、「労使で生み出した成果に基づき安定的な
還元を社員にも行っていくことが、社員の働きがいや向
上や生活の安定に繋がる」との考え方を労使で確認し、その
考えに基づき2020春闘では7年連続となるベア800円、
年間臨給5・38ヵ月を勝ち取ることができました。

私たち鉄道業は、長期雇用を通じて技術・技能の向
上を培っていくことを基盤に賃金をはじめとする労働条件
を維持・発展させていく必要があります。そうした観点から
も、2021春闘においては、雇用を守ることを優先するこ
とはもちろんですが、組合員の生活の安定を重視した闘
いを展開していきたいと考えています。種々の施策によりご
利用が一定程度回復すると想定されますが、経験したこと
のない経営状況下での2021春闘となることは必至で
す。将来を見据え、建設的な議論を要請します。

なお、「賃金昇進制度」の見直し等の議論については、
コロナ禍により職場討議が出来ないため、少しスケジュール
を見直して進めてまいりたいと思います。

4. 労働組合の意義、助け合い・支え合い

33年前に国鉄は倒産し、全国で7万6千名が鉄道を去
りました。当時の労使は、結果的に社員・組合員の雇用を
守ることができなかった訳です。JR西日本グループにお
いても、緊急事態宣言発出以降、旅行、ホテル、百貨店、飲
食店などが店舗閉鎖などに追い込まれ、多くの会社で一
時帰休が実施されました。全く売上が立たない状況が続
いた訳ですが、パートも含め、JR西労組、西日本連合との
連携のもと、大半のグループ労使が100%賃金補償の
協定を締結しました。加えて、一人の失業者も出してい
ません。日本全体で失業者が2百万人に迫ろうとする中、
「雇用を守る」という労働組合の最も大切な役割を果た
して頂いたことに対し、あらためて敬意を表します。

雇用を守る、働く者を大切に、JR西日本グル
ープ各労使の姿勢は、アフターコロナに再発する労働力不足
時の強みになると確信しています。コロナ禍の影響が長期
化した場合、鉄道を含め、一段と厳しい局面を迎える可
能性はありますが、労働組合未組織のグループ会社にも目
を配り、雇用不安のないJR西日本グループをつくる決意
を固めたいと思います。

また、今回のコロナ禍においては、組合員の方々から、

不安やSOSの声が届きました。集会や会議などが開催
できない中、そういった声を確実に本部に届けて頂いた
各級機関の役員の方々に感謝を申し上げますとともに、会
社よりいち早く声が届く体制を作っていることに敬
意を表します。こうした声が休暇、休業の様々な時限的措
置に繋がりました。分会をはじめ役員の方々の世代交代が進
む中、本当に組合員が困った時に「助け合い」「支え合い」の
精神を発揮できたことを誇りに、今後も組織強化を図って
頂きたいと思えます。

最後に、安全・安定輸送という公共交通機関としての使
命を胸に、総団結で、この難局を乗り越え、未来を切り拓
こうではありませんか。

そして、「助け合い」「支え合い」の取り組みを通じ、JR
西日本グループの力を結集しようではありませんか。JR
西日本グループの利用促進に向けた取り組みをJR西労組、
JR西日本連合として実施します。労働組合らしい「草
の根運動」を要請します。

あらためて、組合員の皆さんの負託に応え、JR西労組
運動の前進に取り組む決意を申し上げます。ともに頑張
りましょう。